

グリニド製剤(速効型インスリン分泌促進薬) 桜ヶ丘院内フォーミュラー

		第一選択 ※2	第二選択
医学的区分	2型糖尿病	レパグリニド錠 (先発名:シュアポスト)	ミチグリニド OD 錠 (先発名:グルファスト)

※1参考ガイドライン:①糖尿病診療ガイドライン2019②血液透析患者糖尿病治療ガイド2012 ※2第一選択薬とは薬効群中において臨床上必要度が高い医薬品、第二選択薬とは第一選択薬で代替可能ではあるが当院における使用実績等を参考に使用する医薬品
2024年6月発行

グリニド製剤 概要

採用薬名	レパグリニド錠0.25mg 「サワイ」(後発)	ミチグリニドOD錠10mg「JG」 (後発)	<p>【第一選択薬について】 低血糖の発現頻度は高いがHbA1cのベースラインからの変化量が高い。臨床上有用性が高いといえる。</p> <p>【第二選択薬について】 海外でのデータが少なく、HbA1cの変化量はレパグリニドと比較すると有意差があるといわれる。</p>
採用区分	院内・院外	院内・院外	
採用規格 薬価(1錠)	8.0円/錠	9.2円/錠	
用法	1日3回毎食直前(食事10分以内)	1日3回毎食直前(食事5分以内)	
ガイドライン推奨	高齢者糖尿病の特徴である食後過血糖の改善に適しているが、低血糖のリスクがあり、服用回数、タイミングも負担になりやすい。		
海外適応	英国・米国	日本のみ	
臨床試験情報	HbA1c低下効果が大きい		
腎・肝に関する量	重度の肝機能障害:低量より開始 重度の腎機能障害患者(透析含む)には投与可能	腎機能・肝機能患者へは重症度に関わらず用量調節は不要	